

汚染米 安全置き去りの政府の責任は重大

国民の食の安全確保へ
事実究明し再発の防止を



農薬やカビ毒に汚染された輸入米が食用として流通し、焼酎や菓子、給食にまで使用されていたことに、国民の不安が広がっています。非食用の汚染米を食用と偽り販売した企業の責任は重大です。同時に、汚染米を廃棄せず流通を容認してきた政府の責任が問われます。

国の公認で汚染米輸入

「騒ぐな」と責任放棄の農水大臣

三笠フーズにカビ発生 Тай米を販売した住友商事は、「農林水産省の了解を得たうえで、三笠フーズに販売した」とのべています。一方で、太田農水相は、「汚染米への不安が広がっているのに、「あんまりじたばた騒いでいない」と発言し、農水省の責任を棚上げにしています。全く許し難いことではないでしょうか。

国会で緊急に徹底論議を 日本共

産党が申し入れ

日本政府は、WTOの取り決めに「義務だ」と言って、年間七十七万トンもの輸入米を何が何でも確保するために、汚染米と知りながら輸入したのです。

日本共産党は、汚染米の国内

流通の禁止や汚染の可能性のある商品の回収などを農水省に緊急申し入れ。事実究明と再発の防止のために、国会での徹底論議を要求しています。



日本共産党大阪府委員会

大阪府大阪市天王寺区空堀町 2 - 3
電話：06-6762-8771 <http://www.jcp-osaka.jp/>

日本共産党